

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 平群駅周辺の活気とにぎわいのある住み良いまちづくり																											
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	平群町																									
計画の目標	平群駅周辺は町の玄関口として、これまで町の発展に寄与してきたところであり、町役場を含むシビックゾーンであるとともに、商業・業務・文化機能などが集積する町の中心地である。しかし、丘陵地の住宅開発地に比べ、道路・公園・駅前広場などの都市基盤が立ち後れており、防災面、環境面で問題を抱えている。また駅周辺の区域流入人口が減少することに起因し商業施設が減少傾向にあるため、まちの活気やにぎわいが失われつつある。そこで駅前広場を含めた、道路網の整備、公共交通網の整備、公園の整備等、都市基盤整備を行い、良好な市街地形成を図り、且つ商業や地区の活性化を図ることを本事業の目的とする。																											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 近年、平群駅西特定土地区画整理事業区域内の店舗数と「平群駅」の乗降客数は減少傾向にあり、それぞれ、少しでも減少を止めることを目標とし現状維持に努める。 密集した老朽住宅の除去や建替えを促進することにより、平群駅西特定土地区画整理事業区域内の建築物の耐震性が確保され、防災面においても良好な居住環境の推進を図る。 																											
定量的指標の定義及び算定式				<table border="1"> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>① 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による店舗数の推移 平成18年の調査時 40件 平成22年の調査時 31件</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>② 近鉄「平群駅」での聞き取り調査による乗降客数の推移 平成20年6月17日 3,783人/日 平成21年6月17日 3,557人/日 平成22年6月17日 3,477人/日</td> <td>3477</td> <td>3477</td> <td>3477</td> </tr> <tr> <td>③ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内におけるコミバス利用者の降車人数の推移 平成20年4月の調査時 270人/月 平成21年4月の調査時 250人/月 平成22年4月の調査時 250人/月</td> <td>250</td> <td>260</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>④ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による老朽住宅 (住宅市街地総合整備事業制度要綱により算出) の減少率 (土地区画整理事業施行前 (平成18年) からの減少率) 平成18年老朽住宅数 120棟 平成22年老朽住宅数 109棟 減少率 (120棟-109棟) / 120棟 × 100 = 9%</td> <td>9</td> <td>68</td> <td>78</td> </tr> </table>		定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による店舗数の推移 平成18年の調査時 40件 平成22年の調査時 31件	31	31	31	② 近鉄「平群駅」での聞き取り調査による乗降客数の推移 平成20年6月17日 3,783人/日 平成21年6月17日 3,557人/日 平成22年6月17日 3,477人/日	3477	3477	3477	③ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内におけるコミバス利用者の降車人数の推移 平成20年4月の調査時 270人/月 平成21年4月の調査時 250人/月 平成22年4月の調査時 250人/月	250	260	270	④ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による老朽住宅 (住宅市街地総合整備事業制度要綱により算出) の減少率 (土地区画整理事業施行前 (平成18年) からの減少率) 平成18年老朽住宅数 120棟 平成22年老朽住宅数 109棟 減少率 (120棟-109棟) / 120棟 × 100 = 9%	9	68	78
定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																										
① 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による店舗数の推移 平成18年の調査時 40件 平成22年の調査時 31件	31	31	31																									
② 近鉄「平群駅」での聞き取り調査による乗降客数の推移 平成20年6月17日 3,783人/日 平成21年6月17日 3,557人/日 平成22年6月17日 3,477人/日	3477	3477	3477																									
③ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内におけるコミバス利用者の降車人数の推移 平成20年4月の調査時 270人/月 平成21年4月の調査時 250人/月 平成22年4月の調査時 250人/月	250	260	270																									
④ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による老朽住宅 (住宅市街地総合整備事業制度要綱により算出) の減少率 (土地区画整理事業施行前 (平成18年) からの減少率) 平成18年老朽住宅数 120棟 平成22年老朽住宅数 109棟 減少率 (120棟-109棟) / 120棟 × 100 = 9%	9	68	78																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,978百万円	A	5,586百万円	B	C	392百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.6%																			
事後評価 (中間評価)																												
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																												
事後評価 (中間評価) の実施体制					事後評価 (中間評価) の実施時期																							
					公表の方法																							
1. 交付対象事業の進捗状況																												
交付対象事業																												
A1 基幹事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)	全体事業費 (百万円)	備考																	
1-A-1	都再区画	一般	平群町	間接	平群町平群駅西土地区画整理組合	平群駅西特定土地区画整理事業	都市再生区画整理 12.5ha	平群町	H22 H23 H24 H25 H26	5,586																		
合計										5,586																		
B 関連社会資本整備事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)	全体事業費 (百万円)	備考																
合計																												
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																	
C 効果促進事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)	全体事業費 (百万円)	備考																	
1-C-1	都再区画	一般	平群町	間接	平群町平群駅西土地区画整理組合	平群駅西特定土地区画整理促進事業	換地先整備等	平群町		257																		
1-C-2	公共交通	一般	平群町	直接	平群町	中心市街地循環バス整備事業	中心市街地循環バスの実証実験	平群町		135																		
合計										392																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																	
1-C-1	当効果促進事業である換地先整備を重点的に行うことにより、市街地形成となる区画道路を早期整備し都市再生区画整理事業 (1-A-1) 区域内の宅地の有効利用を促進し活気とにぎわいのある住みよいまちづくりを行う。																											
1-C-2	当該区域を公共交通網の基点 (ハブ) と位置付け、走行空間の改善 (1-A-1) に合わせ中心市街地への循環バス路線を整備することにより、移動利便性の向上を図り、区域内への流入人口が増加することによる地域の活性化を目的とする。																											
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																												

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況								
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・区域内の店舗数については、計画値のとおり現状維持とはならなかった。 ・平群駅及び事業区域内のコミュニティバスの乗降客数については、少し減少傾向にあるものの大幅な減少は抑えられている。 ・区画道路の整備により、良好な住環境が確保された。 						
II 定量的指標の達成状況	指標① 平群駅西特定土地区画整理事業区域内 の实地調査による店舗数の推移	最終目標値	31件	目標値と実績値 に差が出た要因	店舗経営者の後継者不足等により、区画整理事業を機に廃業し、事業を継続しない判断をされる方もいたため。また、事業全体の遅れもあり新規の商業店舗の立地が進まなかったことも要因としてあげられる。			
		最終実績値	21件					
	指標② 近鉄「平群駅」での聞き取り調査による 乗降客数の推移	最終目標値	3477人/日	目標値と実績値 に差が出た要因		計画当時の乗降客数を現状維持することはできなかったのは、事業区域内の店舗数の減少及び事業全体の遅れもあり住宅等の建築が進まなかったことが要因としてあげられる。		
		最終実績値	3110人/日					
	指標③ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内 におけるコミュニティバス利用者の降車人数の 推移	最終目標値	270人/月	目標値と実績値 に差が出た要因			指標②と同じく、事業区域内の店舗数の及び住宅等の建築が進まなかったことが要因であると考えられる。しかしながら、区域内に文化センター・図書館の複合施設が建設される予定(2020年頃 完成予定)であり、今後は上昇が見込まれる。	
		最終実績値	263人/月					
	指標④ 平群駅西特定土地区画整理事業区域内 の实地調査による老巧住宅（住宅市街 地総合整備事業制度要綱により算出） の減少率	最終目標値	78%	目標値と実績値 に差が出た要因				
		最終実績値	78%					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>整然とした街区や駅前広場が整備されたことで、町の中心及び玄関口としてふさわしい地区となった。</p>						
3. 特記事項（今後の方針等）								
平群駅周辺地区については、本町の中核を担う地域として、中密度な土地利用を促進しながら住宅・商業・福祉・子育て・交通・文化・交流・行政など各種都市機能を集積し、その拠点性や魅力の向上を図っていく。								

(参考図面) 社会資本総合整備計画 事後評価

計画の名称 1 平群駅周辺の活気とにぎわいのある住み良いまちづくり

計画の期間 平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)

交付対象

平群町

